

一般職試験(大卒程度試験)

【専門試験(多肢選択式)】(行政)

「行政」区分は、基本的には得意な分野の科目を選択できるようになっており、16科目(80題)中、8科目(40題)を解答します。

次の16科目(各5題)から8科目を選択します。

政治学、行政学、憲法、行政法、民法(総則及び物権)、民法(債権、親族及び相続)、ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学・経済事情、経営学、国際関係、社会学、心理学、教育学、英語(基礎)、英語(一般)

* 解答する問題は、科目ごとの選択となります。科目をまたがったの選択はできません。例えば、政治学から3題、行政学から2題選択して1科目分とすることはできません。

<受験者へのメッセージ>

様々な専門の方が受験しやすいように、幅広い試験内容となっています。



各科目においても、特定の分野に偏らないように、様々な分野から幅広く出題します。



大学の専門課程で学習した分野や関心の高い分野を中心に選択科目を決め、基本的な教科書や専門書で勉強するとよいでしょう。

